

日 芸 み や ぎ

日本大学芸術学部校友会
宮城江古田会 ニュース

綾部校友会長影絵慰問公演

「えーっさ えーさ えっさほいさっさ♪」

仮設住宅の集会所から童謡が聞こえてきます。

ことし2月25日大雪の中、日芸校友会会長綾部東洋子さん率いる影絵グループあけびの会10人が震災被災地の慰問に訪れました。気仙沼、陸前高田、大船渡を2泊3日で回る強行日程です。最初は気仙沼市で最も多くの仮設住宅が建てられている公園住宅の集会所。立ち見の出るほど集まり「かにむかし(さるかに合戦)」、「ピーターパン」、「歌の影絵(童謡)」のプログラム。影絵といってもとても色鮮やかで、ピーターパン



はウエンディがネバーランドに飛んで行くファンタジックな映像です。スクリーンの後ろでは、綾部さんはじめスタッフ



が人形を持つ手を挙げたまま右に左に汗だくになって動き回っていました。歌の影絵では、おばあちゃんが手をたいて一緒に歌い、「赤とんぼ」では涙しながら見入ってい

加藤順子さん 癒しのカンツォーネコンサート

平成23年12月10日、加藤さん(映画H6年度卒)は被災地の状況に詳しい菅野哲也さん(写真49年度卒)の案内で仙台市蒲生地区を訪れて津波の傷跡を心に刻



加藤順子さん

み、会場の仙台市高砂市民センターに向かいました。ロビーには近くの仮設住宅の人たちが招かれ、加藤さんはアルディアラやヴォラーレなどホール一杯に響き渡るカンツォーネを熱唱、手を引いて一緒に踊り、元気をプレゼントしていました。

加藤さんは翌日、山元町

ました。1時間に及ぶ公演で、集まった人たちは「とても感動した」と喜んでいました。

この日二回目の公演は岩手県陸前高田市の滝の里工業団地仮設住宅です。狭い集会所に斜めに暗幕を張り何とか準備でき



綾部東洋子校友会会長

ました。夕方5時からは大船渡市の仮設住宅へ。長い経験の中でも1日に3公演は初めてということで、荷物の積み下ろしや会場の暗幕張りなどの手伝いに、宮城江古田会の6人(塚崎・青木・中島・桑折・星・山本)、岩手江古田会の鈴木玲子さんが差し入れ持参で駆けつけました。



影絵の高さ合わせ大変!

あけびの会は綾部東洋子さんが芸術学部在学中に旗揚げして50年、海外公演12回、国内500の施設で公演。綾部さんは2007年紫綬褒章を受章されています。

(塚崎隆夫)



心に響くカンツォーネを熱唱

の災害FM放送「りんごラジオ」に生出演、続いて山下中央公民館では震災で天井が崩れ落ちた講堂でのコンサート。音響整わない中でも気持ちを込めた笑顔で歌っていました。加藤さんは3日間にわたり、被災地の人たちの心にイタリアの暖かい風を吹き込んでくれました。ありがとう順子さん!

初の 台湾江古田会訪問記 海外交流 青木副会長参加(映画45年度卒)

2011年11月24日、再開したばかりの国際線、仙台空港発14時15分発のエバー航空BR117便で台北に行つて来ました。台湾へ行くきっかけは、10月14日に開かれた『宮城江古田会』の総会で、芸術学部校友会綾部会長の『台湾江古田会総会に行きませんか』でした。

僕と台湾の関わりは、映画学科の同級生に台湾の留学生陳 健弘さんが在籍した事からの始まりです。卒業後、陳さんを訪ねて一人で台湾を旅行、もう40年近く前の話です。

次の関わりは、仙台にプロ野球球団、東北楽天イーグルスが新規参入。楽天には台湾出身の投手が二人おり。その通訳として5年近く仙台に住んでいたのが、映画学科卒業の邱 宗文さんでした。邱さんとは、よく一番町の文化横丁『八仙』で餃子を食べたものでした。

今回の台湾訪問の一つの目的は、この二人に会う事でした。しかし陳さんは、11月25日から新竹市で開かれる映画祭に出席のため、到着した夜に、ホテル近くの屋台で食事をして、40年ぶりに旧交を温めただけでした。又、邱さんは台湾で開催され、日本代表でソフトバンクホークスが参加した、『プロ野球アジア選手権』の、ソフトバンクの通訳として帯同しており会う事ができませんでした。

25日は東京から参加の4名、岩手から参加の4名、そして私を入れ9名が、写真学科卒業の黄 國鈞さん、そしてガイドの資格を持っている写真学科卒業の陳 宗蔚さんの案内で故宮博物館を見学。故宮博物館に向

かうトンネル内のLEDを使用した照明は、芸術の卒業生の作だと聞かされました。

又、故宮博物館内に展示されている、『戦国早期狩猟紋鈔』酒器は、黄 國鈞さんの3Dデジタル撮影技術により、実物より細部が良く見える3D映像が公開されていました。

この後、熊本から参加の2名が合流し台北偶戯館へ。そして、台北駅2階フードコートに有る黄 國鈞さん経営の『ZeZe』で美味しいタピオカ入りの抹茶オーレをご馳走になりました。



台湾江古田会 陳会長の挨拶

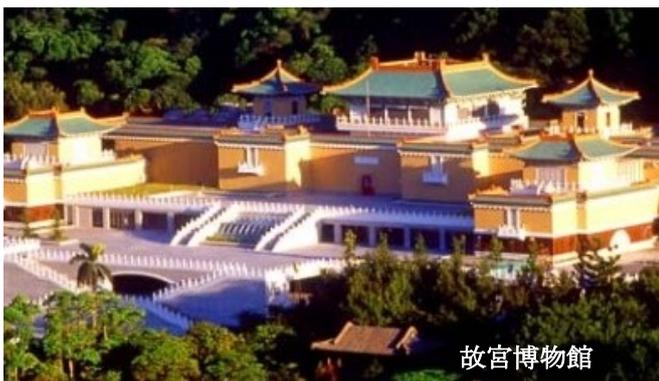
26日『日本大学芸術学部江古田校友会』は、旧日本時代のビール工場跡で開かれ、食べ放題飲み放題でした。

参加者は台湾各地、南は高雄市、東は花蓮市などから、家族連れを含めて約30名以上の校友が出席しました。日本から

日本大学副総長の野田芸術学部長、原芸術学部副学部長、校友会綾部会長ほか、合わせて13名が出席しました。

始めに芸術学部江古田校友会台湾支部の陳会長が『創学90年の年に、日本各地より江古田台湾支部総会に出席していただき、ありがとうございます。これからも、江古田会の仲間として一緒に頑張っていきたいと思います』と歓迎の挨拶。これに対して野田学部長が『台湾国立芸術大学との提携の話が進められて芸術学部も国際化が進んでいます』と芸術学部の今後の進む道などが、紹介されました。各学科の卒業生同士で、学生時代の話に盛り上がる風景が各所で見られました。

卒業年代は違っても、そこは日芸卒業生、江古田時



故宮博物館



両国の映画学科の校友の面々

会 員 の 活 躍

鈴木麻弓さん写文集発刊 (写真H12年度卒)

宮城県女川町出身のフォトグラファー鈴木麻弓さん(逗子市在住)が生まれ育った実家の佐々木写真館は、女川湾のすぐ近くにあって津波で全壊、両親が行方不明となった。写真館跡に奇跡的に残った暗室、父愛用のカメラが見つかった時「写真館は流されたけど、お前は写真家として生きていけ」と父の言葉が聞こえたように感じたという。父が撮ったサ

ン・ファン・バウティスタ号を復元した船大工たちの写真、被災地の状況、子供たちの絵画とともに海外で展示して回り、カメラマンとして世界が広がった。小学校の入学式や旅行など子供たちや、生き生きとした表情で再起を果たそうとしている町の人たちを記録し続け、その熱い思いを11章の文でまとめている。

一葉社「女川 佐々木写真館」2,100円
仙台駅前ジュンク堂では写真も展示されている。

<http://monchiblog.exblog.jp/>



鈴木麻弓さん



写文集「女川 佐々木写真館」

桑島美奈さんラジオデビュー(放送H22年度卒)

昨年2011年7月に「仙台なびっく情報ステーション」(<http://sendai-navic.com/>)がオープンし、さまざまな活動をしてまいりました。仙台なびっく情報ステーションは仙台の中心部9商店街の活性化を第一に考え、秋には大道芸イベント、冬にはお笑いイベント。そして、3.11には希望プロジェクトとしておおまち商店街のアーケード天井に映像を写しました。

そして、今年2012年5月25日、クリスロード商店街に「東北ろっけんパーク」(<http://tohoku-rockenpark.com/>)がオープン。こちらは名前の通り、東北6県の復興を第一に考え、平日は復興グッズの販売・展示。毎週末には物産市「東北いいもんパーク」を開催しております。東北6県のおいしいもん・いいもんが、東北ろっけんパークに一堂に会し、毎週お店も変わりますので、来て頂ければ東北通になること間違



仙台なびっく情報ステーション(一番町)

いなしです。

オープンするに従って、ろっけんパークにラジオのサテライトスタジオが開設され、担当させて頂く事になりました。日芸で学んだことが、活かされる日が来るとは思ってもおらず、心が躍っています。

当初はディレクションだけの予定でしたが、私も出演させて頂いておられます。

毎週木曜日 16:00～16:15 DateFM(77.1MHz)「元気情報発信！東北ろっけんパーク」です。ほんの少しだけいいもんパークの宣伝をさせて頂いておりますので、機会がありましたら、お耳を傾けて頂きたいと思ひます。

「なびっく」そして「ろっけんパーク」も街の案内所として年中無休(10:00～19:00)でやっておりますので、仙台にお越しの際はまず、「なびっく」と「ろっけんパーク」にお立ち寄り頂ければ嬉しいです。(桑島美奈)

→
代の昔話は尽きなく、最後は卒業学科ごと記念写真を撮りあい、楽しい時間を過ごさせてもらいました。40年前訪問した時の台湾とは、格段に発展しており、我々日本人も台湾の方々に負けないよう切磋琢磨して行かないと、すべての面ですぐに追いつき追い越されてしまいそうな気がしました。

今回の東日本大震災では台湾の方々から、200億円のお見舞金をいただきました。感謝、感謝です。

台湾の発展の凄さは、台湾江古田会の方々を見れ

ば一目瞭然です。台湾各地で芸術、経済、教育等の分野で大活躍している事です。我々、日本の江古田会メンバーも、彼らに負けないよう頑張らないといけなと、痛感しました。

仙台～台北間は空路で4時間。是非『宮城江古田会総会』にも出席していただき、交流を深めたいと思っております。今回は、台湾江古田会の方々に大変お世話になり、ありがとうございました。

謝辞。再見。

(青木研一)

佐藤円さん朗読活動 (放送H4年度卒)

仙台市の創作和太鼓グループ「加茂綱村太鼓」。市内の様々なイベントへの参加や海外での演奏など幅広い活動を続けてきました。設立15周年を迎え、7月に第7回演奏会を行います。私は第2回演奏会から司会を担当していますが、曲に合わせた詩で曲紹介をしたり、ステージで朗読したりと、毎回楽しく参加しています。今回はすずめ踊り、虎舞などの踊りも加わり充実し

た見ごたえのあるステージになりそうです。ぜひ、足をお運びください。(佐藤 円)

<http://www.paw.hi-ho.ne.jp/sugar/>
「加茂綱村太鼓第7回演奏会」
2012年7月8日(日) 14時 開演
場所:電力ホール 前売券:大人2000円他
三越、藤崎プレイガイドにて販売中



佐藤 円さん

星久美子さん山本和香さんコンサート (音楽51年度卒)

女性4人のメンバーが全員ソプラノという、ちょっと珍しいグループです。前回のコンサートでの好評を受け、今年9月に2回目が開かれることになりました。個性あふれる独唱や味わい深いアンサンブルをお楽しみください。(写真左:星久美子さん 右:山本和香さん)

〈女声ヴォーカルグループ〉
クローバーの会
はあとふるコンサートVol.2
2012年9月15日(土) 14時開演
戦災復興記念館記念ホール
500円 全席自由



平成24年度 宮城江古田会通常総会開催

平成24年度宮城江古田会総会が5月25日(金)、郷土料理「北の一」で開催されました。

日本大学校友会宮城県支部長遠藤文雄氏(医学部)、副支部長田邊裕靖氏(通信教育部)を来賓に迎え、平成23年度活動報告並びに会計報告、平成24年度活動計画並びに予算案を審議、原案どおり承認されました。又、役員改選については、副会長に酒井健樹氏、幹事に星久美子氏を新たに選任、事務局には桑島美奈氏が加わりました。

懇親会では、塚崎会長からは東日本大震災で被

災した会員のその後の状況報告、又、4月に韓国江古田会の総会に出席したときの様子などが披露されました。来年の宮城江古田会25周年記念行事の提案も出され、懇親会は和気あいあいの内に終了しました。

なお、野田芸術学部長から、被災地でもあり、今回はぜひとも出席したかったが学部の監査、綾部校友会会長は常任幹事会と重なり、皆さんによろしくとのメッセージをいただきました。(中島 斉)



[24年度役員]	(卒年度)
会長 塚崎 隆夫	(写真42年度)
副会長 柳橋 邦彦	(文芸38年度)
副会長 皆川 由吾	(写真44年度)
副会長 青木 研一	(映画45年度)
副会長 酒井 健樹	(放送52年度) [新任]
幹事 射手矢静一	(写真41年度)
幹事 渋谷 和江	(演劇39年度)
幹事 星 久美子	(音楽51年度) [新任]
監事 中島 斉	(映画36年度)
事務局長 桑折 洋一	(放送55年度)
事務局 佐藤 円	(放送H4年度)
事務局 桑島 美奈	(放送H22年度) [新任]

【編集後記】

2012年6月20日 会員皆様の協力により、「日芸みやぎ」第2号を発刊する事ができました。ご協力有り難うございました。

第3号の発行予定は、11月頃を予定しています。

第3号には塚崎会長が、韓国江古田会に出席した報告を特集として掲載します。

会員活動報告等の原稿が不足しています。「原稿より健

康」健康が大切なのはわかりますが、原稿の協力をよろしくお願ひします。(青木)

発行責任者 塚崎隆夫

事務局

〒980-0802 仙台市青葉区二日町12-21 (有)アズシステム

桑折洋一 Mail: koori@az-sys.co.jp